

豊能の概要：豊かな住環境と教育環境の充実

買物や飲食店の数や少子高齢化に伴う子育ての項目に課題

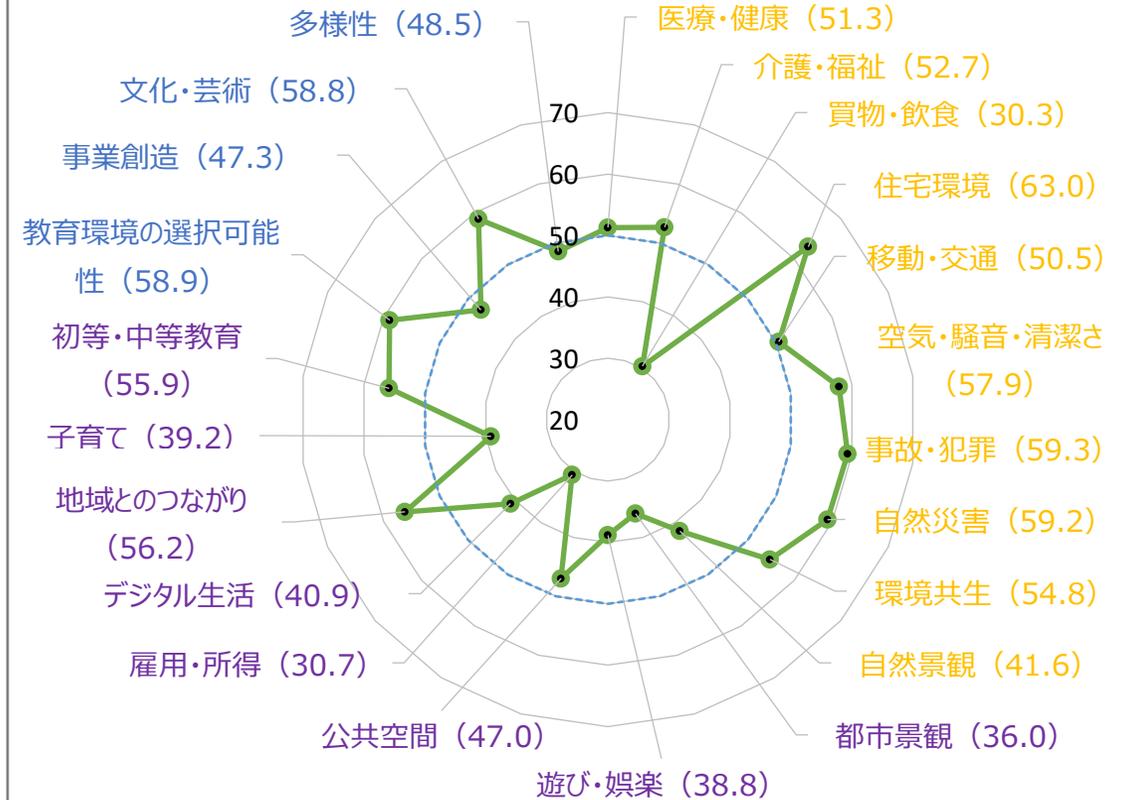
概要

人口	18,377人	高齢化率	48.6%
可住地人口密度	1515.0人/km ²	昼夜間人口比率	-
都市の特徴・ 周辺地域との関わり	大阪府の北部、北大阪地域に属し、大阪都心部よりおよそ30kmの距離に位置しています。東は茨木市、西は兵庫県川西市、南は箕面市、北は能勢町及び京都府亀岡市に接しています。 妙見山を境に東西に分かれており、西部地区は川西市をはじめとする兵庫県と生活圏が近く、東地区は道路網を通じ、生活圏は池田・亀岡・茨木・千里中央と幅広い。		
将来都市像	自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの		

サマリー

- 平均値となる偏差値50を超えている項目としては、以下のようなものがあげられる。
(生活環境)
 - ・医療・健康 (51.3) 、介護・福祉 (52.7) 、住宅環境 (63.0)(自然環境)
 - ・環境共生 (54.8)(余暇)
 - ・文化・芸術 (58.8)(教育)
 - ・教育環境の選択可能性 (58.9) 、初等・中等教育 (55.9)
- 一方、都市景観や遊び・娯楽、雇用・所得、買物・飲食などの値が低くなっている。

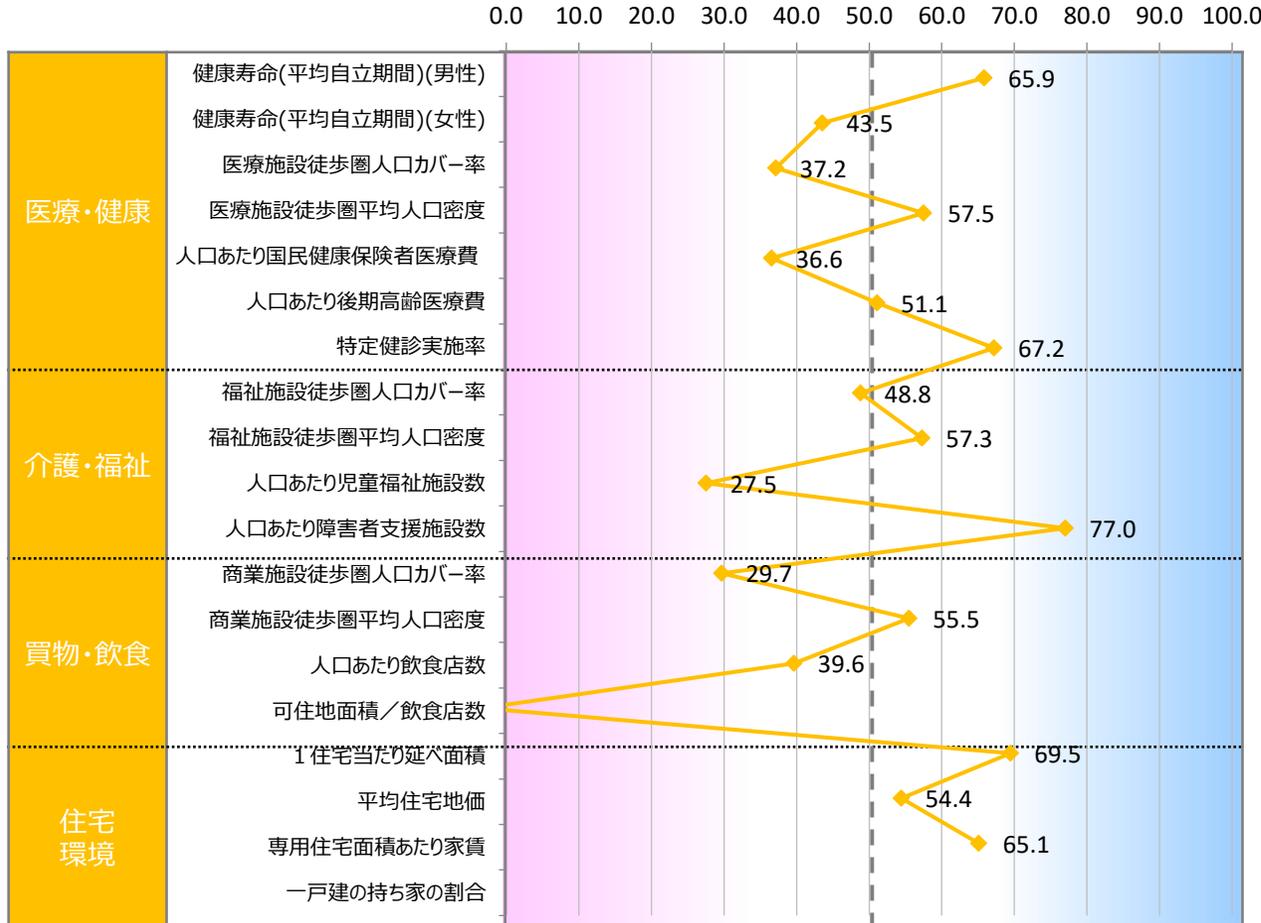
カテゴリー別偏差値



*凡例:
カテゴリー名 (指数の値)
--- 平均値(偏差値50)

【身体的健康】
(客観のみ)

住環境や移動・交通に関する項目の評価が高い
飲食店数など商業施設に関する評価が低い



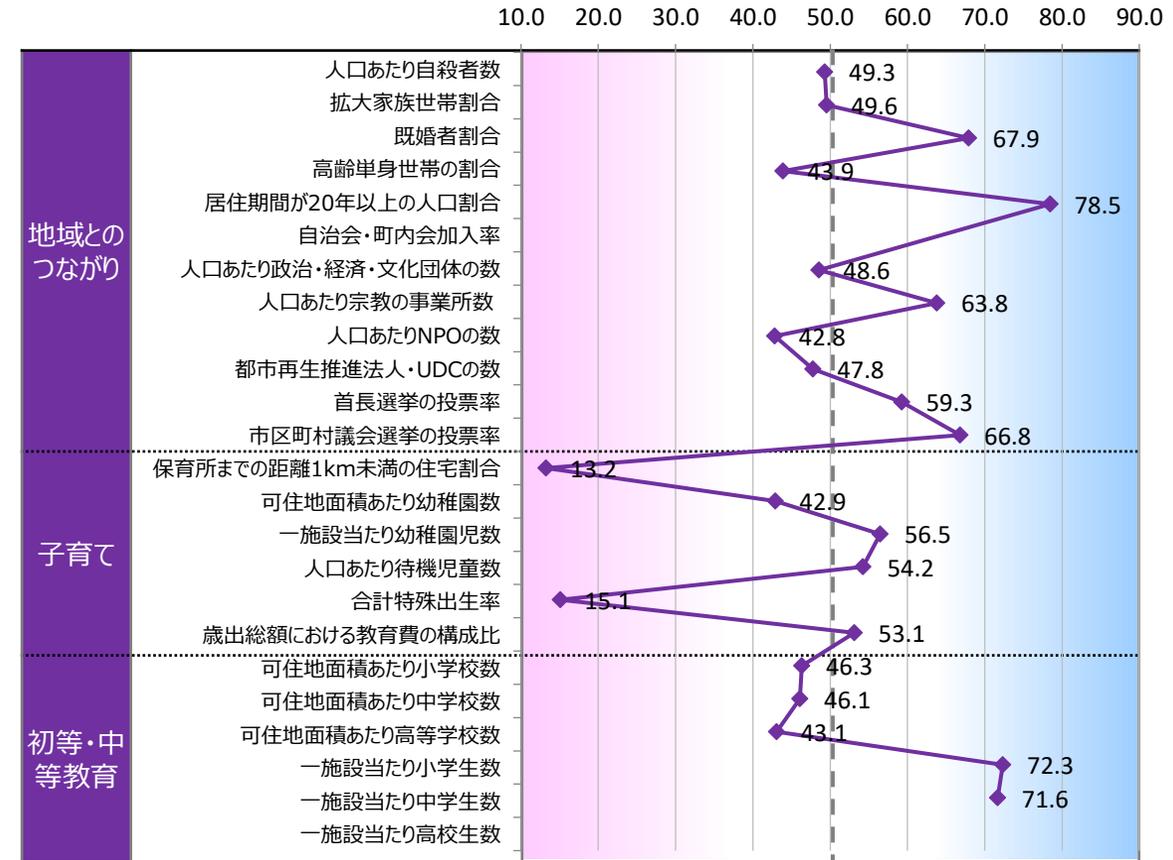
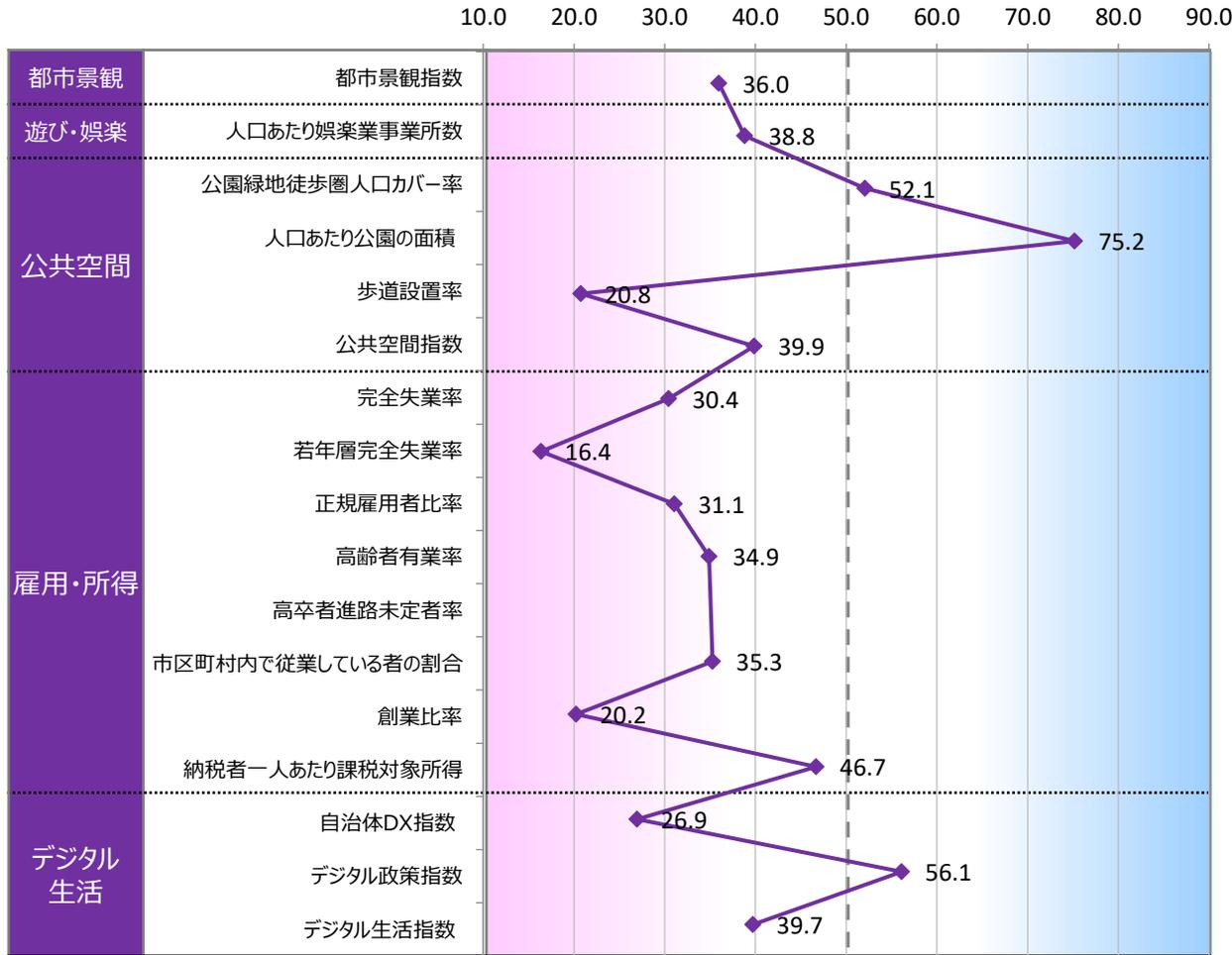
(*) 指数の説明

指数名	指数の意味	集計対象
環境共生指数	自治体における環境共生への取り組みを総合的に評価	・SDGs未来都市 ・2050年CO2排出実質ゼロ表明 ・グリーン契約の契約方針 ・気候変動イニシアティブへの参加 ・脱炭素先行地域
自然景観指数	まちのきれいな自然景観を総合的に評価	・国立・国定公園 ・農林水産省「美しい日本のむら景観百選一覧」 ・景観重要樹木の有無

LWCI因子カテゴリー	考察（カッコ内の数字は対応する偏差値）
医療・健康	<ul style="list-style-type: none"> ■ 徒歩圏人口カバー率・国民健康保険者医療費の値が低いが、男性健康寿命や特定検診実施率は評価が高い
介護・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童福祉施設数の値が低い一方で、障害者支援施設数の評価が高い
買物・飲食	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全般的に評価が低い
住宅環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべての項目が50以上の評価となった
移動・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■ 職場までの平均通勤時間のみ評価が低いが、そのほかの項目については評価が高い
空気・騒音・清潔さ	<ul style="list-style-type: none"> ■ どの値も50を超えていて評価が高い
事故・犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべての項目で50以上の値となっており、評価が高い
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然災害・防災指数は高い
環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境共生指数は低いが、その他の項目は評価が高い
自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自然景観指数は低い

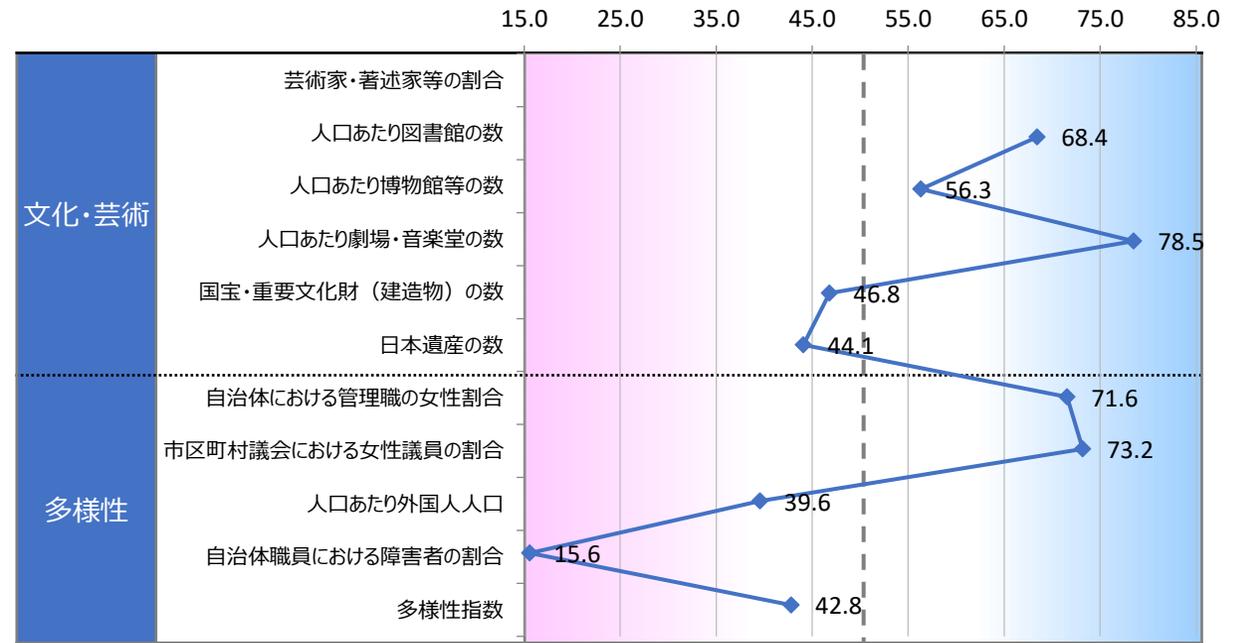
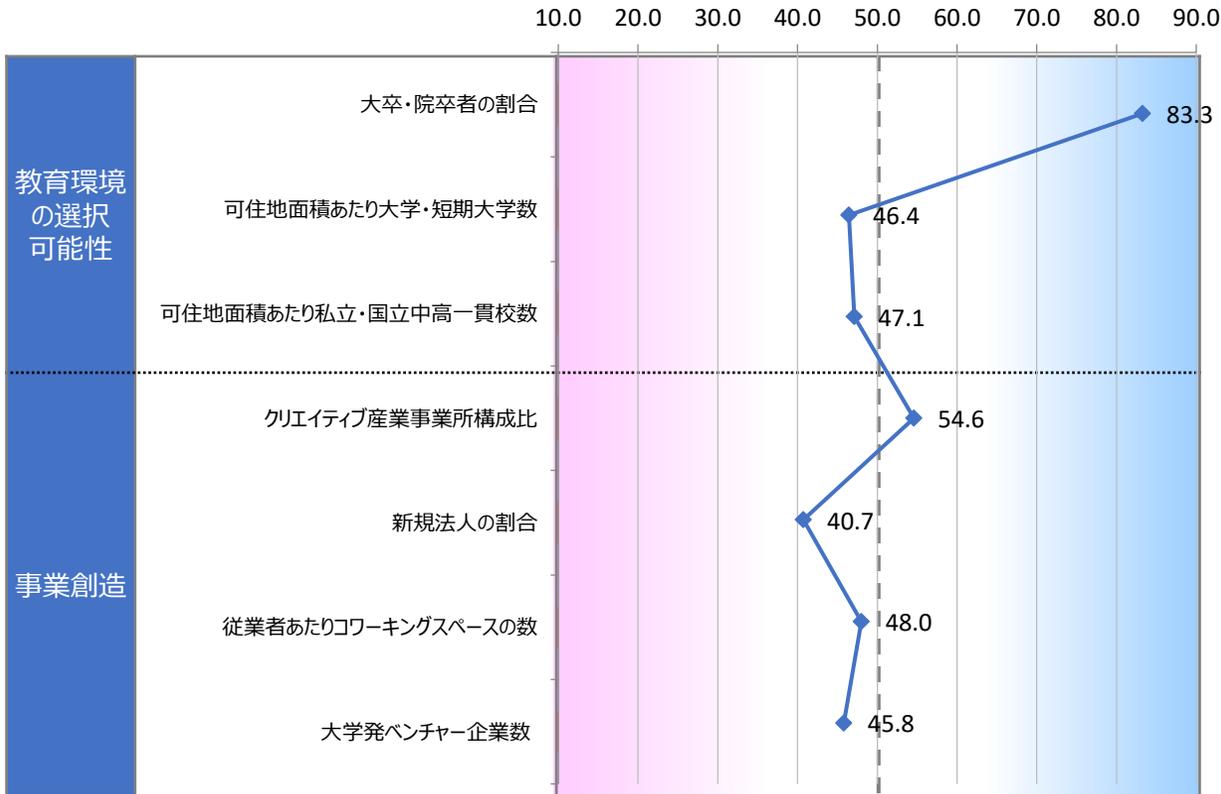
【社会的健康】
(客観のみ)

人口当たりの公園の面積の項目は高く、地域とのつながりの評価も比較的高い
雇用・所得に関する項目が低く、また合計特殊出生率も低い



指数名	指数の意味	集計対象
都市景観指数	まちの素敵な都市景観を総合的に評価	・「都市景観大賞」受賞の市区町村 ・景観条例の有無 ・景観重要建造物の有無 ・景観協定の有無
公共空間指数	歩きたくなる街並みかを総合的に評価	・ウォーカブル推進都市 ・地方版自転車活用推進計画
自治体DX指数	自治体内部のDX推進状況を総合的に評価	・総務省「自治体DX・情報化推進概要」のカテゴリー（「自治体DXの推進体制等」、「行政サービスの向上・高度化」等）
デジタル政策指数	自治体による住民のデジタル環境を整える取り組みを総合的に評価	・国交省Plateauの対象 ・オープンデータ公表 ・ローカル5G開発実証事業採択 ・スマートシティ合同審査 ・マイナンバーカード取得率 ・国勢調査ネット回答率
デジタル生活指数	まちのデジタル環境を総合的に評価	・Code for Japan 関連組織 ・ファブラボ ・CoderDojo ・大学のICT関連学部 ・高等専門学校 ・10万人あたりキャリア店舗数

LWCI因子カテゴリー	考察（カッコ内の数字は対応する偏差値）
都市景観	■ 都市景観指数の評価は低い
遊び・娯楽	■ 人口当たりの娯楽事業所数の評価は低い
公共空間	■ 歩道設置率は低いが、人口あたりの公園の面積は評価が高い
雇用・所得	■ 全項目にわたって評価が低い
デジタル生活	■ デジタル政策指数の評価は高いが、その他の値が低い
地域とのつながり	■ 居住期間が20年以上の人口割合が高く、他の項目も評価が高い
子育て	■ 一施設あたりの幼稚園児数や待機児童数の評価は高いが、合計特殊出生率の値が低い
初等・中等教育	■ 一施設当たりの小中学生数の評価が高い



(*) 指数の説明

指数名	指数の意味	集計対象
多様性指数	住民の多様性を総合的に評価	・パートナーシップ宣誓制度 ・住民の平均年齢が45歳以下であること

LWCI因子 カテゴリー	考察（カッコ内の数字は対応する偏差値）
教育環境の 選択可能性	■ 大学・引卒者の割合が高いが、域内に大学や短期大学、私立・国立中高一貫校はない
事業創造	■ 事業創造に関する項目は評価が低い
文化・芸術	■ 人口あたりの劇場・音楽堂数や図書館数の評価は高い
多様性	■ 自治体における管理職の女性割合や、議会における管理職の女性割合が高いがその他の多様性の項目は評価が低い